



International Institute of Multi-Cultural Studies

特定非営利活動法人

# 国際比較文化研究所

■ Newsletter ■

Vol. 26. No.2. 2026年3月号

## 鷺の宮卓話

### IIMS 2025年度

太田敬雄

今年度の Newsletter 発行に関しては、先ず皆さまにお詫びを申し上げます。ここ数年は年間4回の発行を何とか守って来られましたが、今年度は6月に発行できず、6月号と9月号の合併号として発行。11月にやっと総会報告をさせて頂きました。そして今号が今年度の最終号となってしまいました。

IIMS の活動自体が停滞していたわけでは有りません。多目的民間教育施設 MANAPAL&IIMS は安中市の安中と原市、高崎市の山名八幡宮に教室を設け、キッズクラス（英語/珠算/算数）、IIMS 中等部・高等部、英検対策（オンライン/対面）などで子ども達を受入れ、多くの保護者に喜ばれています。

多文化交流も活発で、多くの若者たちを結び付けています。例えば、直近の2026年2月に開催された多文化交流 in ぐんまは6人のスタッフが3か月間毎週ミーティングを重ねて立ち

あげました。6名の内の4名は過去の多文化交流に参加したことも無い1年生達。苦労も多かったと思いますが、9か国17大学の学生達に社会人も加わった30名が参加。そこに二日目には23名のまなばるキッズも加わり、即時ボランティアも加えると総勢70名が豊かな交流の経験を重ねることが出来ました。

昨年8月に開催された多文化交流 in プサン、9月に開催された多文化交流 in マラン：それぞれ現地の実行委員会の主催で開催されていますが、素晴らしい交流の日々を過ごすことが出来ました。

学生達による国際交流サークル SET (Student Exchange Team) には現在70名ほどの現役学生が名を連ねていますが、2025年度はこのサークルを組織化し、オンラインでの交流会や、対面での交流会を開催しています。この活動もこれから磨きがかかってくることと思われます。楽しみです。

オムニバス講座にも一言触れておかななくてはなりません。2025年は7月に3回シリーズで開催され、多くの学びが有りました。

## 2026年度総会のご案内

2026年5月23日(土) 14時~15時

今年度の総会もオンライン(ZOOM)での開催といたします。

正会員の皆さまはメール・LINE などにて5月16日(土)までに必ず出欠をご連絡下さい。

＜議題＞2025年度事業報告、2025年度会計報告、監査報告

2026年度事業計画、2026年度予算

役員人事

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

【賛助会員、学生会員の皆様】ご希望の方には陪席していただけます。大歓迎です。

ご希望の方は5月16日までにご連絡下さい。

▼ご寄付及び会費納付先▼ ー変わらぬお力添えをお願いしますー

【クレジットカードによるお手続き】

【振込用紙によるお振込み】

下記 QR コード、もしくは IIMS のホームページからアクセスして頂き手続き・ご登録ください。



研究所 (IIMS) のホームページ  
<https://iims-japan.org/>

郵便振替口座：加入者名 国際比較文化研究所  
口座番号 00510-0-61974  
銀行への振込：群馬銀行 安中支店 普通預金  
口座番号 0958657  
加入者 (トクヒ) コクサイヒカクブンカケンキュウジョ

ニューズレターを郵送させていただいた皆様には、振込用紙を同封させていただきますが、これは請求書ではありません。一律に皆様にお送りしているもので、すでに会費をお振込み下さった方にもお送りしています。

メールでニューズレターをお送りしている方々には振込用紙をお届けできません。特に会費の請求はお送りしておりませんが、郵便局の振込用紙、もしくはカードでお振込みくださいますようお願いいたします

入会・会費・寄付振込状況 (25.10.1.~26.3.26.)

皆様の変わらぬお支えに励まされて活動を続けています。有難うございます。(敬称略)

正会員会費：菅ヶ谷純弘、中易圭子(24,25)、菅ヶ谷由美子、杉浦翔太、福崎結子、  
賛助会費：高橋美一、岩本松江、清水久美、新井瑞穂、巢山史枝、永田強一、佐俣久子、  
村井田和夫、山村由美、遠間徹也、伊藤優子、佐俣由香、  
寄付：岩本松江、中易圭子、永田強一、花村ひろ子、坪井教由・明子、栗野明子、  
イエスの友会、佐俣由香、  
毎月寄付：片岡謙、内野春香、藤本恵大、Rosdiana Febriyanti、根岸大輔、  
樋本達之、吉田理沙、

編集後記：☆しばらく前に旭川動物園の園長、坂東元氏が書かれた「日本からスズメが消える」話を読みました。坂本氏は「スズメは特殊な生き物で、人間の生活圏で暮らす野鳥なんです。僕たちが人工的に環境をつくり替えてきたなかでも、いつも人間に寄り添って暮らしてくれている。」しかし、1980年代から2020年代にかけて、日本のスズメ絶滅の危険が増大しているそうです。

「まず、スズメが巣を作る場所がなくなった。昔は瓦屋根の隙間や換気口、屋根裏などに巣を作っていました。気密性のいい住宅になり、巣が作れるような隙間がなくなってしまったんです。そして、スズメのエサがなくなった。(略) そのエサのほとんどは虫です。小さな虫がいなければ、スズメはヒナを育てられない。昔は空き地があれば必ず虫はいましたが、今は空き地が少なくなっているうえ、公園などは虫が出るのを嫌って殺虫剤を撒いているところもある。スズメが生きられる場所を、僕らはどんどん奪い続けているんです」そして、坂東氏は続けます：「スズメと一緒に生きられなくなった環境は、人間も生命の危機に瀕しているということではないかと思うんです」

半世紀近く前に安中に移り住んだ頃、我が家の辺りは蛍が舞い、沢ガニが迷い込むような所でした。当然スズメも住んでいましたが、蛍が消え、沢蟹も来なくなり、最近ではスズメを見かけることがめっきりすくなくなっています。

がむしゃらに「進化」を続けてきた人類も、坂東氏が言うように、自分たちの生命の存続を怪しくしているのではないかと思えてしまいます。そのような時代だからこそ、IIMSは人がお互いのつながりを大事に育てて行く必要が有るのだと思います。

☆卓話に書きませんでした。2月には本当に久しぶりにインドネシアのマランに行ってきました。私にとっては、マランは今も昔も、日本に居ては忘れてしまいそうな事や繋がりを思い出させてくれる大事な場所です。(敬)

発行：特定非営利活動法人国際比較文化研究所  
事務所：379-0124 群馬県安中市鷺宮 3413-3  
電話：027-382-5998 FAX:027-382-6393  
研究所 HP：<https://iims-japan.org>  
メールアドレス：[iims.since2000@gmail.com](mailto:iims.since2000@gmail.com)  
まなばる HP：<https://manapal.jp>  
メールアドレス：[mail@manapal.jp](mailto:mail@manapal.jp)  
郵便振替口座：加入者名 国際比較文化研究所  
口座番号 00510-1-61974